

## 「意宇川水防訓練」について

### 1 目的

2年続けて避難情報を発令した意宇川において、地域でのヒアリングや昨年度導入した「防災情報システム」の運用訓練を通じて、住民一人ひとりが確実な避難行動がとれるよう「タイムライン」に基づき水防訓練を実施する。

### 2 実施日

令和元年6月9日（日）7時30分～11時30分

### 3 訓練概要

大雨により意宇川の水位上昇による避難対応をタイムラインを基に意宇川沿川住民及び各関係機関が連携して対応訓練を実施する。

#### (1) 住民避難訓練（7：30～10：20）

- ・市からの水位情報・避難情報の発令訓練
- ・各地区（支所）災害対策本部の設置運営訓練
- ・要配慮者支援組織、消防団、警察などによる要配慮者避難誘導訓練
- ・避難所の開設運営（福祉施設への移送）訓練

#### (2) 防災研修会（10：30～11：30）

#### (3) 水防演習（10：30～11：30）

- ・建設業協会などによる土のう作成訓練
- ・消防団などによる水防工法演習

### 4 訓練シナリオについて

訓練日の想定・・・平日（市役所勤務日）の想定

- ・2日前から大雨の見込み（警報級の発令）が発表されていた
- ・7時30分 洪水警報発表、意宇川神納橋水位観測所（八雲）の水位が氾濫注意水位(2.10m)に到達した。  
支所、地区災害対策本部を設置し、役員の招集、情報収集を行う。
- ・8時00分 各課の職員が職場に参集し対応を検討する。
- ・8時30分、神納橋水位観測所の水位が避難判断水位(2.40m)に到達した。  
各課で避難所開設の準備や避難対応の準備を行う。
- ・8時40分 「避難準備・高齢者等避難開始」の発令
- ・9時30分 神納橋水位観測所の水位がはん濫危険水位(2.70m)に到達した。
- ・9時30分 「避難勧告」の発令
- ・10時20分 神納橋水位観測所の水位がはん濫危険水位(2.70m)を下回る。
- ・10時20分 「避難勧告」解除

5 主な参加機関

- ・各地区（支所）災害対策本部
- ・松江市  
（防災安全部・政策部・福祉部・健康部・都市整備部・教育委員会・災害時動員職員）
- ・松江市消防団（八雲・松江橋南・東出雲各方面団）
- ・松江市消防本部
- ・島根県、松江県土整備事務所
- ・松江警察署
- ・松江建設業協会
- ・松江圏域老人福祉施設協議会 など

6 参加住民数（約150名を想定）

- ・八雲地区（日吉、東日吉、切通団地、新日吉団地、つるぎニュータウン、第2つるぎ団地ニュータウン、田園ひよし）：約100人
- ・大庭地区（有・大草地区）：約50人